2013年度インテンシブコースⅠ　カリキュラム

カリキュラムの内容	時間数	方法
オリエンテーション	1.0	
がん患者の在宅医療	2.0	講義
目的）がん患者がうける在宅医療システムや在宅医が行うがん緩和医療について理解することができる		
在宅がん医療と薬理	3.0	講義
目的）在宅がん看護実践に必要な薬理学的知識を身につける		
在宅がん患者と栄養	1.5	講義/演習
目的）在宅がん患者の栄養管理に必要な知識を身につける		
在宅がん医療と看護倫理	3.5	講義/演習
目的）在宅がん医療の中で生じる倫理的な課題を理解し、看護専門職として倫理的に対応できる能力を身につける		
在宅がん患者とコミュニケーション	3.0	講義/演習
目的）在宅がん医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係を確立できる能力を身につける		
がん患者の在宅移行支援	6.0	講義/演習
目的）医療的・日常生活支援が必要ながん患者が、円滑に在宅移行できるよう、在宅移行時に必要なアセスメントおよび院内・院外における必要な調整内容について理解することができる		
在宅がん患者の家族と患者・家族教育	4.0	講義/演習
目的）在宅がん患者の家族の心理と社会的状況を理解し、家族を援助の対象として認識し、家族に必要な援助を提供できる能力を身につける		
在宅がん患者とチームアプローチ	6.5	講義/演習
目的）在宅がん看護実践におけるチームアプローチの重要性を理解し、在宅がん医療に必要な役割やコーディネーターとしての役割を果たすことができる能力を身につける		
在宅がん患者の症状マネジメント ①疼痛緩和　②在宅がん患者の精神医療、せん妄・倦怠感のあるがん患者の看護　③在宅がん終末期におけるフィジカルアセスメント　④　CS　CI やカフティポンプなどの医療機器類の取り扱いおよび技術演習	9.0	講義/演習
目的）在宅がん患者にとっての症状マネジメントの重要性を理解し、必要な援助を提供できる能力を身につける		
在宅がん終末期患者の症状管理 ①褥瘡・腫瘍自壊部　②口腔ケア　③終末期のリンパ浮腫　④フットケア　⑤リハビリテーション（身体・呼吸）	18.0	講義/演習
目的）在宅がん緩和ケアに必要な皮膚・粘膜症状管理方法やリハビリテーション方法を身につける		
在宅がん患者のエンド・オブ・ライフ・ケアと在宅看取り	6.0	講義/演習
目的）その人らしい人生の最期を生き抜くことの意味を理解し、必要な援助を提供できる能力を身につける。 また、在宅看取りを支援するチームメンバーのストレスマネジメントの重要性を理解することができる		
在宅におけるエンゼルケアとグリーフケア	4.0	講義/演習
目的）在宅看取りをした遺族へのケアの重要性を理解し、亡くなる前から始まるグリーフケアを提供できる能力を身につける		
実習：①在宅療養支援診療所　②訪問看護ステーション　③調剤薬局　④がん診療連携拠点病院	24.0	実習
目的）実習を通して在宅移行支援や在宅療養支援を必要とするがん患者や家族への関わりの実際、および役割を理解できる		
実習振り返りを交えた事例検討、修了式	6.0	事例検討
目的）実習を振り返り、事例を通して学びを深めることができる		